

熊野石蔵美術館～田垣内友吉記念～

ご挨拶

本美術館は、私の祖父「田垣内友吉（雅号 愛耕）」（1894-1931）の画業を顕彰するために、平成13年（2001）8月に開館しました。友吉の大叔父にあたる田垣内松之助によって明治元年（1868）頃に建てられた石蔵は、平成14年（2002）6月には文化庁登録有形文化財「田垣内家住宅石蔵」として指定され、友吉の油彩画を中心に、昔懐かしい民具・写真・新聞などをまじえて、常設展示しています。おかげをもちまして、開館以来毎年100名を超える方々が、個人や団体で訪れて下さるまでに成長しました。



さて、友吉は、明治時代中期から昭和初期にかけて、絵画への志に燃え、洋画家で文化勲章受章者故・中川一政（1893～1991）に師事し、日々求道的ともいえる制作に邁進しながらも、37歳の若さで結核に倒れました。友吉の作品や日記から、「制作にかける純で切なる生き方」をいささかでも感じとっていただければ、私にとりましてもこれに過ぎる喜びはありません。

館長 田垣内 康夫

石蔵について

外観は寄棟造りの瓦屋根で、五郷町湯の谷の河原にあった大岩を切り出し、煉瓦（れんが）のように積み上げられています。大岩は河原でいくつかに分けられたあと、現在の場所まで運ばれました。そして、石工職人の手によって、長さ約1¹/₂、幅約30¹/₂に成形され、高さは石積みだけで約5¹/₂もあります。



石蔵正面

田垣内友吉略年譜

明治27年（1894）2月11日

父条吉、母けいの五人兄弟の三男として三重県南牟婁郡五郷村大字桃崎に生を受ける。

明治45年（1912）頃

京都同志社中学に入学。京都市北区平野八丁柳町の西都教会井田健司牧師により洗礼を受ける。

大正4年（1915）頃

同志社中学卒業。日本画家菊池契月の菊池塾に入門し、日本画の手ほどきを受ける。

大正6年（1917）～大正13年（1924）

東京に毎年出掛け、洋画の各種公募展（文展・帝展・淡交会・日本美術院・二科展・春陽会）に足を運ぶ。

大正11年（1922）4月23日

五郷村大字桃崎の山東壽の長女光恵と婚姻。

大正14年（1925）

中川一政に師事。3ヶ月間、東京で滞在。

昭和2年（1927）

第5回春陽会展に「五郷桃崎の景」「初秋の郊外」を出品して、2作品とも入選。

昭和4年（1929）

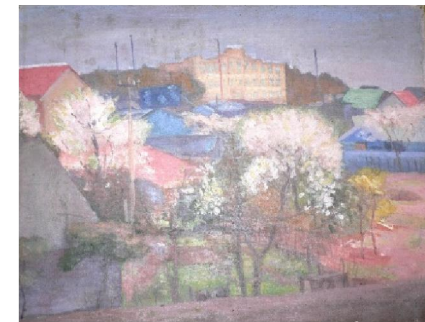
第7回春陽会展に「春」を出品し入選。洋画家古賀春江から「春は穏健でよい」と評価される。

昭和6年（1931）

10月4日、肺結核で死去。享年37歳。



田垣内 友吉



春（第5回春陽会展入選作）



夏の橋（中川一政）

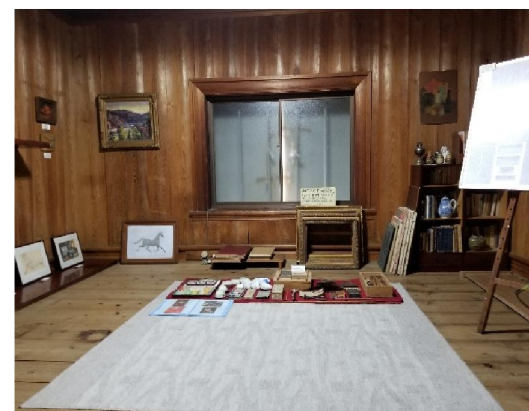
館内案内



石蔵と母屋



母屋全景



石蔵二階（田垣内友吉常設展示室）



石蔵庭園



石蔵一階（生活民具等展示室）

熊野石蔵美術館年譜

明治元年（1868）：田垣内松之助、田垣内本家から分家。母屋、石蔵はこの時建てられたとされる。

平成 5 年（1993）：館長、石蔵の整備をはじめ。

平成 9 年（1997）：3 月と 12 月、何でも鑑定団（テレビ東京）出演する。

平成 12 年（2000）：5 月、何でも鑑定団（テレビ東京）再々出演する。

平成 13 年（2001）：8 月、「熊野石蔵美術館」が開館する。

平成 14 年（2002）：6 月、石蔵が「田垣内家住宅石蔵」として国指定「登録有形文化財原簿」（熊野市指定第一号）に登録される。

平成 15 年（2003）：1 月、石蔵が東紀州まちかど博物館に指定される。

平成 24 年（2012）：5 月、石蔵来館者が 1,000 人を突破する。

平成 31 年（2019）：1 月、石蔵が、ポケストップ（ポケモン GO）に指定される。

ご利用案内

住 所：〒519-4671 三重県熊野市五郷町桃崎 345 番地

開館時間：土・日曜日・祝祭日（要予約）9：00～17：00

入館料：無料

T E L：0597-85-4582

駐 車 場：10 台



HP：QRコード

アクセス

- ・三重交通バス桃崎大橋下車、徒歩 2 分
- ・JR 熊野市駅下車、車で 25 分
- ・「五郷郵便局」より徒歩 1 分

熊野石蔵美術館～田垣内友吉記念～ホームページ

- ・URL <https://isigura-art-museum.jimdo.com>